

2019年2月9日

京都市議会議員選挙予定候補 様

京都市指定家庭ごみ袋代に関する公開質問状

平素より、京都市の市政にひとかたならぬご尽力をいただき感謝申し上げます。

私たちは、2016年春から京都市指定家庭ごみ袋代の値下げを求めて、右京区で請願署名を集めている市民グループです。

京都市のごみ袋は近隣の他市に比べて異常に高くなっています（450袋1枚が 京都市45円、大津市13円、豊中市8円）。

ごみ袋の販売収入は年間約18億円、製造経費等約7億円、すなわち収益は10億円以上にもなります。これらは直接ごみの収集・処分に当てられるのではなく、てんぷら油の拠点回収への助成や防鳥用ネットの貸出など、ごみの収集や減量に関することに使われています。

しかし、太陽光発電等の設置の助成金や、商店街の街路灯の設置、街路樹の整備まで、ごみの処分や減量とは関係のないものにまで使われています。

それでも余るので、これまで毎年3~4億円貯め込まれ、貯め込み金（京都市民環境ファンド）の残高は約16億円と聞いています。今回その貯め込み金から2.5億円を使い、横大路の南部クリーンセンターに展望台が作られています。

そもそもゴミの収集と処分は地方自治体がまず第一にやるべき仕事であり、税金でまかなわれるべきものです。現在も無料で行っている自治体もたくさんあります。市民の生活は苦しくなるばかりです。市民の望んでもいないことに使ったり、積み立てたりせず、せめて値下げしてほしいと思います。

今春の統一地方選挙に当たり、市議会議員選挙予定候補の皆様は、公開質問状を送付させていただいております。ご回答を記入の上、FAX（075-862-1430）またはメール（gomibukuro_kyoto@yahoo.co.jp）で2月28日までに、ご回答の程よろしくお願ひいたします。なおこの結果は、ホームページ等で公開させていただきます。

ごみ袋の値下げを求める市民の会@さかの

世話人 大西 育子

問合せ先・FAX：075-862-1430

メール：gomibukuro_kyoto@yahoo.co.jp

公開質問内容

1、ゴミの収集と処分は市民の納めた税金でまかなわれているにもかかわらず、さらに市民からゴミ袋代を徴収するのは、税金の二重取りになると思いますが、どうお考えですか？

()

2、ゴミ袋の販売収入から製造経費を差し引いた収益は年間10億円以上になります。これらは防鳥用ネットの貸出など、ゴミの収集や減量に関することにも使われています。しかし太陽光発電設置の助成金や街路樹の整備など、ゴミの処分や減量と関係のないものにも使われていることについて、どうお考えですか？

()

3、収益の一部を積立て、貯め込み金（京都市民環境ファンド）の残高は現在十数億円にもなっていることをどうお考えですか？

()

4、街路樹の整備や、貯め込み金を使ってクリーンセンターに展望台を建設するなど、市民の意見を聞かず、市民の望まないことに使われている現状をどうお考えですか？

()

5、ゴミ袋の値下げは可能だとお考えですか？無理だとお考えですか？

()

6、5で、無理だとお答えいただいている方にお聞きします。その理由をお教えてください。

()

7、その他、ご意見があればお書きください。

()

以上がお尋ねしたい質問でございます。

ご多忙の折に大変申し訳なくと思いますが、ご回答の程何卒よろしくお願い申し上げます。

この質問の結果につきましては、無回答も含め正式に発表させていただきます。

回答者氏名 ()